



南浦和中だより

〒336-0026 さいたま市南区辻 6-1-33 TEL 048(863)0753
FAX 048(836)1589 さわやか相談室直通 TEL 048(837)5909



『世界中の誰よりきっと』

校長 おお こうち のり かず 大河内 範一



私の小学生初期のあだ名は『おっこった』だった。苗字の響きから来たものだが、友達から呼ばれていて特に違和感はなかった。そして、2歳年下の妹は『おっこち』と呼ばれていた。こちら命名の理由は同様で、兄妹ともに落下系のあだ名で、運気が下がりそうな感じではあったのだが、当時は特に気にすることなく、むしろ珍しくいいネーミングだなと思っていた。

昨今のニュースで、クラスメートをあだ名で呼んだり、呼び捨てにしたりせずに、「さん付け」するように指導する学校が増えているというものがあった。理由としては、身体的特徴をからかうあだ名が付く場合があり、呼ばれた当人が不愉快に感じるだけでなく、いじめにつながるケースがあるということだった。しかしながら、「さん付け」は円滑なコミュニケーションを阻むおそれもあるとのことで、「さん付けを求める場合は、きちんと理由を説明してあげてほしい」という指摘も付け加えてあった。

また、「あだ名にはプラスとマイナスの両面がある。相手をどう呼ぶかは、相手がどう受け止めるかに尽きる」ということ、そして「呼び方一つで相手を不快にさせることもある。さん付けにしても、あだ名にしても、大切なのは相手への敬意があるかどうかであろう。学校現場では、相手を尊重することの大切さを教えてほしい」というコメントでまとめられていた。

芸能界に目を向けてみると、あだ名っぽい芸名や呼称が増えていると感じる。「あいみょん」「みちょぱ」「めるる」などなど。「きゃりーぱみゅぱみゅ」は、ちょっと違うか・・・）これらは、本人の名前から来ているものだろうし、親しみも感じられる。やはり、「悪意」がなく「敬意」や「好意」がしっかりあれば、問題は起こらないのかもしれない。このあだ名の件については、それぞれが考えていく必要があるだろう。

6月は「いじめ撲滅強化月間」である。本校でも様々な取組を行っていくが、いじめほどの学校にも、どの子にも起こり得るものである。皆さんは「自分事」として考えることができているだろうか。「弱い者をいじめることは、人間として絶対に許されない」という強い認識をもつことが重要である。このことをしっかりと意識して行動することができたら、世界中の誰よりきっと優しい人になれる。そして、優しさが仲間・学校・地域に広がっていく。誰一人取り残されず、人々が楽しく集い、生き生きと生活を送ることができる、幸せな学校や地域になってくれることを強く願う。

困ったことがあったら誰かに相談してみよう。あなたのことを真剣に考えてくれる人は必ず存在する。もしも、相談する人が思い浮かばずに悩んでしまったら・・・、そんな時は、校長の私が話し相手になるので、遠慮なく来てくださいね！